

ご使用に際して、この説明書を必ず読んでください。また、必要なときに読めるよう、大切に保管してください。用法・用量についての注意、使用方法などについては裏面をよく読んでください。

第2類医薬品

生薬滋養強壮剤

大木五臓圓

大木五臓圓は漢方理念に基づき、人参、芍薬、桔梗、当帰、川芎、山薬、茯苓、地黄の8種類の成分を配合した滋養強壮剤です。

体の内部から機能を無理なく整え、おだやかに体力を回復させます。

また、大木五臓圓は、生薬特有の臭いと味を、ハチミツ、水アメで練り上げることにより、服用しやすくしております。

※五臓とは 肝 心 脾 肺 腎 の意味



使用上の注意



してはいけないこと

【守らないと現在の症状が悪化したり副作用・事故が起こりやすくなります。】

次の人は服用しないでください。

- (1)本剤による過敏症（発疹・発赤、かゆみ、浮腫）を起こしたことがある人。
- (2)8歳未満の乳幼児。



相談すること

- (1)次の診断を受けたことのある人は、服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

高血圧症、糖尿病。

- (2)服用後、次の症状があらわれた場合は、副作用の可能性があるので直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。



関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	下痢
精神神経系	興奮、不眠
循環器	高血圧

- (3)長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

【効能・効果】

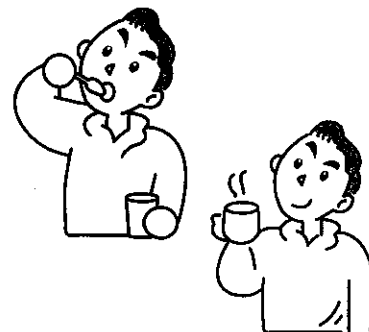
次の場合の滋養強壮：虚弱体質、肉体疲労、病中病後、胃腸虚弱、食欲不振、血色不良、冷え症、発育期

			
虚弱体質	肉体疲労	胃腸虚弱	冷え症

【用法・用量】

次の量をそのまま、あるいはお湯に溶かして随時服用してください。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
成 人(15歳以上)	10 g	3 ～ 4 回
小 児(8 歳～14歳)	5 g	
8 歳 未 満	服用しないこと	



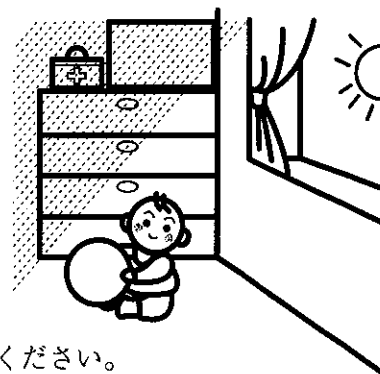
【用法・用量についての注意】

- (1)乳幼児（8歳未満）に服用させないでください。
- (2)定められた用法・用量をお守りください。
- (3)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

【成分・分量】

成 分 (100 g 中)	
人參末(ニンジン末).....	0.8 g
芍薬末(シャクヤク末).....	0.6 g
桔梗末(キキョウ末).....	3.6 g
当帰末(トウキ末).....	0.6 g
川芎末(センキュウ末).....	0.6 g
山薬末(サンヤク末).....	2.4 g
茯苓末(ブクリョウ末).....	7.2 g
地黄末(ジオウ末).....	4.2 g

添加物として、水アメ、ハチミツ、白糖を含有します。



【保管及び取扱上の注意】

- (1)直射日光をさけ、なるべく湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3)誤用をさけ、品質を保持するために、他の容器に入れかえないでください。
- (4)生薬を主原料としているため、製品の色や味に多少の差異を生じることがありますが、医薬品の品質には問題ありませんので、そのまま服用ください。
- (5)使用期限の過ぎたものは服用しないでください。

【問い合わせ先】

大木製薬株式会社 ☎03-3256-5051 『お客様相談室』まで。
受付時間 9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度の問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構 ☎0120-149-931 (フリーダイヤル)
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

製造販売元

 **大木製薬株式会社**
〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3

13021004

試験検査成績書

大木製薬 株式会社 上尾工場 様

試験品の名称 大木五臓圓

付記事項 製造場所:大木製薬(株)上尾工場 埼玉県上尾市平塚2098

Lot No.PL43

平成30年 4月24日 付で 提出された試験品について行なった検査の結果は下記のとおりです。

厚生労働大臣登録検査機関
一般社団法人

埼玉県食品衛生協会検査センター

〒330-0855 埼玉県さいたま市大宮区上小町1450番地

記

試験項目	試験結果	検出限界	試験方法
放射性ヨウ素(I-131)	不検出	3.0Bq/Kg	*①
放射性セシウム(Cs-134)	不検出	2.8Bq/Kg	*①
放射性セシウム(Cs-137)	不検出	4.8Bq/Kg	*①

*① ゲルマニウム半導体検出器によるスペクトロメリー法

以下余白